

### 尾張健友福祉会 萩原事業所の近況

## おひとりお一人が穏やかに落ちついた日々を

萩原グループホームちあき



おり紙に夢中です

3月16・17日、盛況の内に内覧会を終えました。ご家族やご本人がおいでの方もあり、実際にご覧になって入居を決められる方もありました。

4月は17日までに10名の方が入居。月末までに16名となる予定です。

男性の利用者さんたちは、ダンディーで朗らかで優しい性格、すてきな笑顔に職員も癒されています。洗濯物を畳むのを手伝って下さる方や、片付けを手伝って下さるジェントルマンです。

女性の利用者さんたちは、女性らしさを忘れないうまく楽しい方々です。料理もいっしょにされ洗濯物も進んで干して下さいます。

介護福祉士 村山正美

## 介護保険改悪により

### 懸念される介護崩壊

千秋病院介護保険サービスセンター 主任ケアマネジャー 松川 智美

この4月、介護報酬の見直しが行われました。介護人材不足によるサービス低下がささやかれる中、国は介護業界への更なる締め付けを行ってききました。介護給付の削減が目的です。

「移行」という名の締め出し

そのために要支援利用者者が介護保険事業から市町村事業へ「移行」されました。今後は更に要介護1・2の利用者も市町村事業へ移行する案さえも出されています。

要支援へ要介護2までの利用者のうちヘルパーやデイサービスを利用している方は、介護認定者のおよそ75%を占めています。市町村が介護の必要があると認定をした利用者でも、介護保険サービスが利用できず、市町村事業への「移行」を余儀なくされ、利用者には大きな影響を与えることとなります。

事業所閉鎖による崩壊

老人福祉・介護事業の倒産は、2017年は過去最多となりました。人手不足の深刻化と介護給付削減のあおりで、事業者の淘汰が進行しています。事業所が閉鎖すれば、いちばんの被害者は利用者です。慣れ親しんだスタッフや利用者同士の輪を奪ってしまうのです。

国が重度化予防を推進してきた施策に懸命に適応、少人数制でリハビリを中心としたメニューを組み、利用者へ寄り添い、重度化予防に大きな

## 外出が楽しく元気に

岩倉小規模多機能ホームちあき

五条川沿いに施設があり、桜まつりの時期はとて賑やか。みなさん毎年楽しみにしておられ、今年も大勢でお花見に行きました。歩行訓練を兼ねた散歩も、桜が咲いていると足取りも軽くなり



役割を果たしてきた半日型のリハビリデイサービスが相次いで閉鎖されています。事業存続をはかろうと利用者本位の経営は見直され、経営ありきの事業所ばかりになってしまっているのではと心配です。

市町村事業への移行で利用者の生活の継続性が失われます。家族が利用者の心のケアや生活支援を中心に行い、介護は専門職が行うのだと介護保険制度を創設し、社会によるケア体制を作ったことを国は忘れてしまったのでしょうか。

負担増による崩壊

8月から利用者負担割合に2割に次いで3割が追加されます。2割負担導入の際、自

**社会福祉法人尾張健友福祉会**  
 ケアハウスちあき/地域交流スペース  
 デイサービスセンターちあき  
 一宮市丹陽町重吉字新田裏東切1070番6  
 ☎0586-81-7013

**藤が丘デイサービスセンター**  
 介護保険サービスセンターちあき  
 ☎0587-52-3087

**岩倉小規模多機能ホーム・ちあき**  
 ☎0587-65-5885

**岩倉デイサービスセンター・ちあき**  
 ☎0587-65-5886

**特別養護老人ホーム・ちあき 第一 第二**  
 ☎0586-81-7021

**萩原小規模多機能ホームちあき**  
**萩原グループホームちあき**  
 ☎0586-82-0638

### 健友福祉会だより

ホームページ: <http://www.chiki.com/fukushi>

### 5月行事予定

地域交流スペース (ケアハウスちあき一階)

- 8日(水) 14:00-15:00 小島敦・和江様「ピアノコンサート」
- 10日(木) 14:00-15:00 金ちゃんファミリー様「カラオケコンサート」
- 14日(月) 14:00-15:00 富美静芸芸様「歌謡舞踊」
- 16日(水) 14:00-15:00 すずらん様「オカリナ演奏」
- 17日(木) 14:00-15:00 舞踊同好会様「舞踊カラオケコンサート」
- 19日(土) 14:00-15:00 中野直澄様「ギター・和太鼓コンサート」
- 21日(月) 14:00-15:00 藤掛様「ピアノコンサート」
- 25日(金) 14:00-15:00 ふれあいバザー
- 27日(日) 14:00-15:00 「映画会」
- 「キャバレー」

す。しっかりと歩いた後はお楽しみのお茶です。

目移りしながらお団子やたい焼きなど、好きなものを召し上がり、大満足。外出時にはボランティアさんにも協力していただくので、スタッフ以外の人も交流が楽しめます。

ホーム前ではフリーマーケットを開き利用者さんも一緒にお客さんの呼び込みをして大繁盛。商売で育ったからと職員より声掛けが上手なのには驚きです。通りがかりの人から声をかけていた

は、在宅での看取りを推進。おきな矛盾です。私たちケアマネジャーは、常に利用者本位の視点で地域住民とともに寄り添って歩んでいきたいと考えています。日本が高齢者にとって住みやすい国になることを願っています。

- 28日(月) 14:00-15:00 はなみずき会様「大正琴演奏会」
  - 29日(火) 14:00-15:00 丹羽知夏様「健康体操」
  - 31日(木) 14:00-15:00 遊・友・裕様「ハートフルピアノ・チェロ・マジックショー」
  - ★ミニギャラリー★
  - 展示時間 9:00-17:00 (最終日は随時変更あり)
  - 11日(金) 19日(土) 渡辺朝喜様「絵と小物のオブジェ」
  - 23日(水) 30日(水) 田中道弘様「能・狂言面展」
- ※地域交流スペースは日曜・祝日及びその他の指定する日は開放していません。ご了承ください。(映画上映会開催時間のみ特例として開放しております。)

「移行」という名の締め出し

そのために要支援利用者者が介護保険事業から市町村事業へ「移行」されました。今後は更に要介護1・2の利用者も市町村事業へ移行する案さえも出されています。

事業所閉鎖による崩壊

老人福祉・介護事業の倒産は、2017年は過去最多となりました。人手不足の深刻化と介護給付削減のあおりで、事業者の淘汰が進行しています。事業所が閉鎖すれば、いちばんの被害者は利用者です。慣れ親しんだスタッフや利用者同士の輪を奪ってしまうのです。

国が重度化予防を推進してきた施策に懸命に適応、少人数制でリハビリを中心としたメニューを組み、利用者へ寄り添い、重度化予防に大きな

負担増による崩壊

8月から利用者負担割合に2割に次いで3割が追加されます。2割負担導入の際、自

### ボランティアしませんか?



山口敏子さん(67) (左上)

歯科衛生士の山口敏子です。認知症サポート・ボランティア講座で、11月から3か月、有志の方々と勉強しました。萩原事業所で、4月からボランティアとして参加しています。みなさんと一緒に、出来る事をしていきたいと思っています。よろしくお願ひします。